

平成27年度（2015年度）

事業報告書

平成27年（2015年）4月1日から平成28年（2016年）3月31日まで

公益財団法人 損保ジャパン日本興亜美術財団

I 事業の概要

1. 美術作品の収集、保存、公開

<1> 特別展

(1) ユトリロとヴァラドン-母と子の物語 -スュザンヌ・ヴァラドン生誕150年

(4月18日～6月28日)

主催: 当館、日本経済新聞社

協賛: 損保ジャパン日本興亜

後援: 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協力: 日本航空 企画協力: IS ART INC.

本展は、油彩を中心に日本初公開作品ならびに個人所蔵作品を含むユトリロの作品41点とヴァラドンの作品40点を展示し、日本で絶大な人気を誇るユトリロの作品をそのルーツである母ヴァラドンとの関係を交えながら紹介した。

金曜日の開館時間を延長し、20時閉館とした。

【関連行事等】

① 内覧会

(4月17日)

展望回廊において開会式を開催し、主催者として原口館長が、来賓として在日フランス大使館文化部次席参事官が挨拶し、引き続き内覧会を開催した。

② 学芸員によるギャラリートーク

(4月24日、25日)

③ ギャラリー★で★トーク・アート

(6月15日)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者: 53名

【掲載誌等】

① NHKEテレ「日曜美術館」アートシーンで紹介された。

(5月24日)

② BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」で紹介された。

(5月29日)

③ TOKYO MX「アート・ステージ 画家たちの美の饗宴」で紹介された。(6月7日)

④ 共催の日本経済新聞をはじめ、朝日新聞、読売新聞ほか、The Japan Times、美術雑誌、一般誌、ラジオ、インターネットの情報サイトなどで幅広く取り上げられた。

(2) 旅の風景 安野光雅 ヨーロッパ周遊旅行

会期: 7月7日(火)～8月23日(日)

主催: 当館、朝日新聞社

協賛: 損保ジャパン日本興亜

特別協力: 津和野町立安野光雅美術館

企画協力: アートキッチン

本展では、画家、絵本作家、装丁家として幅広く創作活動を続けている安野光雅の作品の中から、ヨーロッパを旅して描いた水彩の風景画に焦点をあてて紹介した。いずれも画家の郷里、島根県津和野町にある安野光雅美術館の所蔵作品から、水彩原画113点を展示した。

【関連行事等】

- ① 学芸員によるギャラリートーク (7月24日、7月31日)
- ② 学芸員による小中学生と保護者対象のギャラリートーク (8月1日、8月8日)
- ③ ワークショップ「旅の風景を描こう！」 (8月1日～8月23日)
1階美術館ロビーにおいて、当日自由参加形式で、風景の写真などを見ながら、自由に想像した自分の「旅の風景」を描いてもらった。参加者：811名
- ④ ふぁみりー★で★とーく・あーと (8月10日午後、8月17日午前・午後)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者：49名(うち中学生以下18名)、29名(うち中学生以下11名)、38名(うち中学生以下6名)

【主な掲載誌等】

共催の朝日新聞社をはじめ毎日新聞、産経新聞ほか、美術雑誌、一般誌、The Japan News、インターネット等で幅広く取り上げられた。

(3) もうひとつの輝き 最後の印象派 1900-20' Paris

会期：9月5日(土)～11月8日(日)

主催：当館、朝日新聞社

協賛：損保ジャパン日本興亜

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

協力：日本航空

企画協力：ブレーンラスト

本展では、20世紀初頭のパリで、印象主義や新印象主義、象徴主義といった前世紀の芸術スタイルを受け継ぎながら、親しみやすく甘美な作品を描いた画家たちが所属していた芸術グループ「ソシエテ・ヌーヴェル(画家彫刻家新協会：La Société Nouvelle des Peintres et Sculpteurs)」の画家23名の作品83点を展示した。美術史の視点からはフォーヴィスムやキュヴィスムといったモダニズムの影に隠れてしまいがちだが、当時のフランス美術界の一端を担っていた画家たちとその作品を紹介した。金曜日は開館時間を延長し、20時閉館とした。

【関連行事等】

- ① 開会式及び内覧会 (9月4日)
東回廊において開会式を行い、当館館長と本展監修者であるヤン・ファリノー＝ル・シダネル氏が挨拶し、引き続き内覧会を開催した。
- ② プレス向け内覧会 (9月4日)
プレス向け内覧会を開催し、学芸員が展示室において作品解説を行った。
- ③ 学芸員によるギャラリートーク (9月11日、12日)
- ④ お客様感謝デー無料観覧日 観覧者：1,826名 (10月1日)
- ⑤ ギャラリー★で★トーク・アート (10月19日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者：38名

【主な掲載誌等】

- ① NHKEテレ「日曜美術館」アートシーンで紹介された。 (9月20日)
- ② 共催の朝日新聞社をはじめ日本経済新聞、毎日新聞ほか、美術雑誌、一般誌、インターネット、ラジオなどで幅広く取り上げられた。

<2> 企画展

(1) 青児とパリの美術 東郷青児のコレクションより

会期:11月21日(土)~12月23日(水)

主催:当館

協賛:損保ジャパン日本興亜

本展では、東郷青児作品80点と青児のコレクションである17作家20点により、青児が当時の日本人の憧れに応じて装飾や印刷物の中に作り上げた甘美なイメージと、現実のパリに対峙した画家として制作した展覧会出品作とを比較展示した。

【関連行事等】

ギャラリー★で★トーク・アート

(12月14日)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:38名

【主な掲載誌等】

① TBS屋の情報番組「ゴゴスマ」において、東京の美術館・博物館等共通入館券「東京ミュージアム ぐるっとパス2015」の特集の中で、提携施設として当館が取り上げられ、本展とゴッホ《ひまわり》が紹介された。(12月1日)

② 「新美術新聞」ほか一般誌、タウン誌、インターネット、ラジオ等で取り上げられた。

(2) 絵画のゆくえ2016 FACE受賞作家展

会期:1月9日(土)~2月14日(日)

主催:当館、読売新聞社

協賛:損保ジャパン日本興亜

本展では、FACE2013からFACE2015までの3年間の「グランプリ」「優秀賞」受賞作家12名の近作、新作95点を展示し、受賞作家たちの受賞後の展開を紹介した。

【関連行事等】

① 開会式及び内覧会

(1月8日)

東回廊において開会式を行い、当館館長及び学芸課長が挨拶し、出品作家12名を紹介した。

② アーティスト・トーク

(1月9日、16日、23日)

展示室において、出品作家がそれぞれの作品を前にして一般観覧者を対象に作品解説を行った。

③ ギャラリー★で★トーク・アート

(2月8日)

休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:22名

【主な掲載誌等】

共催の読売新聞をはじめ、日本経済新聞、毎日新聞、産経新聞、神奈川新聞、上毛新聞ほか、美術雑誌、インターネット等で紹介された。

(3) 「FACE展2016 損保ジャパン日本興亜美術賞展」

会期:2月20日(土)~3月27日(日)

主催:当館、読売新聞社

協賛:損保ジャパン日本興亜

本展は、財団設立時からの作家支援活動の理念を継承した公募コンクール形式の第4回目であり、857点の応募作品から六次「入選審査」と「賞審査」を経て選考された71点の入選作品(うち受賞作品9点)を紹介した。

VOCA展2016(上野の森美術館 会期:3/12~3/30)と連携し、相互の観覧券による観覧料割引を実施した。

【関連行事等】

- ① 内覧会及び表彰式 (2月19日)
内覧会を開催し、展示室において入選作家を対象にした審査員による審査講評を実施した。43階ロビーでは、受賞作家9名の表彰式を行い、その後のレセプションでは、入選作家と審査員・美術評論家等の交流の場を提供した。
- ② ギャラリー★で★トーク・アート (3月14日)
休館日の展示室において、ガイドスタッフと対話をしながらの作品鑑賞会(予約制)を行った。参加者:17名

【主な掲載誌等】

- ① 2月18日付読売新聞夕刊に展覧会の概要及び受賞作品を広告掲出した。
- ② 「新美術新聞(3月11日号)」にて紹介されるにあたり、当館館長が寄稿した。
- ③ 共催の読売新聞をはじめ、毎日新聞、東京新聞、静岡新聞、神奈川新聞、神戸新聞ほか、美術雑誌、The Japan Times、インターネット等で取り上げられた。

<3> 併設展示

(1) 常設展示コーナー

ゴッホ《ひまわり》とセザンヌ《りんごとナプキン》は、常時展示した。

ゴーギャン《アリスカンの並木路、アルル》は他館貸与に伴い、6月9日から展示した。

【主な掲載誌等】

- ① 朝日小学生新聞(4月18日付)で、当館のゴッホ《ひまわり》が紹介された。
- ② アニメ映画「劇場版『名探偵コナン・業火の向日葵』」公開(4月下旬~5月末)に伴い、劇中だけでなく、映画のエンディングロールや劇場版チラシ、パンフレット、日本テレビの映画公開記念特別番組(4月18日放映)において、当館のゴッホ《ひまわり》が紹介された。

(2) 収蔵作品展示コーナー

特別展及び企画展に併設し、東郷青児、グランマ・モーゼス作品を中心に展示した。

「ユトリロとヴァラドン」展では、損保ジャパン日本興亜が所有するユトリロ作品を展示、「FACE展2016」では、前回のグランプリ作品、宮里紘規《WALL》を展示した。

<4> 展覧会解説

(1) 図録・解説書の刊行

- ① 「ユトリロとヴァラドン」展図録

- ② 「ユトリロとヴァラドン」展ジュニア版ブックレット
- ③ 「安野光雅」展図録
- ④ 「最後の印象派」展図録
- ⑤ 「最後の印象派」展ジュニア版ブックレット
- ⑥ 「絵画のゆくえ」展図録
- ⑦ 「FACE展2016」図録

(2) ギャラリートーク

- ① 「ユトリロとヴァラドン」展及び「最後の印象派」展では、学芸員が一般観覧者を対象に展示室において作家・作品解説を行った。
- ② 「安野光雅」展では、さらに小・中学生とその保護者を対象にした解説も実施した。
- ③ 「絵画のゆくえ」展では、出品作家がそれぞれの作品を前にして一般観覧者を対象に作品解説を行った。

(3) 映像の放映

「安野光雅」展では、展望回廊において、安野光雅氏の画業を紹介する映像(約20分)を放映し、作品への理解を深めてもらった。

(4) 諸団体への対応

月 日	団体名・人数	内容
5/20	富山市立八尾中学校5名	美術館概要説明
6/9	朝日カルチャーセンター 新宿教室	講座「『ユトリロとヴァラドン 母と子の物語』展のみどころ」の講師
6/26	吉田絵画教室12名	「ユトリロとヴァラドン」展解説
8/6	横浜市立早渕中学校12名	「安野光雅」展解説
8/21	渋谷本町学園中学校5名	「安野光雅」展解説
10/14	鳴門教育大学附属中学校4名	美術館概要説明
12/11	杉並区立天沼小学校 5年生92名	「青児とパリの美術」展解説
3/4	新宿区立西戸山中学校4名	美術館の概要やFACE展の説明

<5> 展覧会別観覧者数

会期	展覧会名	開館 日数	有料計	無料計	合計	1日 平均
2015.4/18～ 6/28	ユトリロとヴァラドン	63	27,745	28,634	56,379	894
7/7～8/23	安野光雅	43	20,909	22,942	43,851	1,019
9/5～11/8	最後の印象派	58	14,412	27,050	41,462	714

会期	展覧会名	開館 日数	有料計	無料計	合計	1日 平均
11/21～12/23	青児とパリの美術	29	3,892	3,592	7,484	258
2016.1/9～ 2/14	絵画のゆくえ2016	33	3,607	4,371	7,978	241
2/20～ 3/27	FACE展2016	33	3,647	4,337	7,984	242
当年度(2015年度)合計		259	74,213	90,971	165,184	638
<参考>昨年度(2014年度)合計		266	53,825	72,707	126,532	476

<6> 館蔵品・資料・文献の収集・整備

- (1) 美術品の購入 (2月19日)
「FACE2016 損保ジャパン日本興亜美術賞」グランプリ作品
(作者)遠藤 美香 (題名)水仙
(制作年)2015年 (材質)木版画 (寸法)182cm×91cm
- (2) 美術品の受託
① 東郷青児作《サーカス》1929年 (6月12日)
油彩・キャンヴァス 71×51.5cm
② モーリス・ユトリロ《モンマルトルのサクレ＝クール寺院》 (6月29日)
油彩・キャンヴァス 53×60cm
- (3) 美術資料の受贈
東郷青児関連資料(デザイングッズ)2点 (8月5日)
- (4) 美術資料の受託
① 東郷青児関連資料(雑誌・書籍等)14点 (7月9日)
② 東郷青児関連資料(雑誌・書籍等)5点 (11月21日)
- (5) 館蔵品の修復・点検
① ゴッホ《ひまわり》は他館貸与後のメンテナンス及び額の改善を行った。
(4月1日～4月16日)
② 笠井誠一《二つの卓上静物》の額を修繕した。 (5月21日～6月11日)
③ 館蔵品の棚卸及び作品点検を実施した。 (11月13日、17日、18日)
④ ルノワール《帽子の娘》、《浴女》は他館貸与に備え、メンテナンス作業を実施した。
(2月15日～3月12日)
- (6) 館蔵品の撮影
ポジフィルムの経年劣化に伴い、画像データの取得を目的に館蔵品等76点の撮影を行った。
(4月、11月、12月、3月)

<7> 館蔵品の貸与

作品名	貸与先等
東郷青児 油彩1点 《超現実派の散歩》	「空とぶ美術館展」(2015.3/7～5/6) 三重県立美術館
東郷青児 油彩2点 《ピエロ》、 《超現実派の散歩》	「二科100年展 伝説の洋画家たち」 (7/18～9/6、9/12～11/1、11/7～12/27) 東京都美術館、大阪市立美術館、石橋美術館
東郷青児 油彩2点 《村の祭》、 《コントラバスを弾く》	「第21回 秘蔵の名品アートコレクション展」 (8/3～8/20) ホテルオークラ東京
東郷青児 油彩1点 《花炎》	「第100回記念二科美術展覧会」(9/2～9/14) 国立新美術館
ピカソ 油彩1点 《長いひげの裸体男性像》	「ピカソ展 誰でもわかる天才の名画」 (9/19～11/23) ふくやま美術館
ピカソ 油彩1点、素描4点 《長いひげの裸体男性像》、 《宝石》、《裸体男性像》、 《椅子に座る女性像》、 《ベートーヴェンのデスマスク》	「ピカソ、天才の秘密」(2016.1/3～3/21、4/9～7/3) 愛知県美術館、あべのハルカス美術館
ルノワール 油彩2点 《帽子の娘》《浴女》	「光紡ぐ肌のルノワール」展(2016.3/19～6/5) 京都市美術館

<8> 調査・研究

(1) 図録・解説書等

- ① 「ユトリロとヴァラドン」展及び「最後の印象派」展では、展覧会図録の執筆・編集に参画するとともに小中学生を対象に展示内容を簡潔に解説したジュニア版ブックレットを刊行した。
- ② 「絵画のゆくえ」展と「FACE展2016」では、展覧会図録を刊行した。
- ③ 収蔵品目録として、「コレクション100選」及び「収蔵品目録 東郷青児作品」を刊行した。
- ④ 美術館Report2015を発行した。

(2) その他執筆・講演活動

- ① 新美術新聞(4月21日付)に寄稿し、「ユトリロとヴァラドン」展について紹介した。
- ② 日本経済新聞アートレビュー面「アート・トーキング」コーナー6月号に寄稿し、スュザンヌ・ヴァラドン《窓辺のジェルメーヌ・ユッテル》作品を解説した。
- ③ 朝日カルチャーセンター新宿教室の講座『ユトリロとヴァラドン 母と子の物語』展の「みどころ」(6月9日開催)の講師を務めた。
- ④ 「美術の窓」1月号に寄稿し、「絵画のゆくえ2016」展を紹介した。
- ⑤ 「美術の窓」2月号に寄稿し、2016年度に開催する「樹をめぐる物語」展及び「カリエール」展を紹介した。

2. 展覧施設の運営管理

<1> ミュージアムショップの運営

(1) 新たに以下の頒布品を製作・販売した。

限定販売(4月～8月)	ひまわりの種(3種) 「劇場版名探偵コナン」オリジナルグッズ
限定販売(9月～1月末)	2016年版カレンダー2種 「グランマ・モーゼス」「東郷青児」
通年販売(新規)	ゴッホ輸入グッズ(カード、マグネット、コインパース、ミニノート、付箋、ノートセット、カードセット)
通年販売 (館名変更に伴うリニューアル)	絵はがきを順次リニューアル

(2) 特別展では、展覧会関連の頒布品や書籍を受託販売、又は一部買取販売した。

(3) 「絵画のゆくえ」展では、出品作家の小作品や絵はがき、カレンダー、挿絵本等を受託販売した。

<2> 施設・設備等の整備

(1) 美術館フロアの定期清掃(カーペット洗浄、ワックスがけ)及び虫害防除作業を実施した。(4月6日、8日)

(2) 1階ロビーに設置してあるロッカーの耐震工事を実施した。(10月5日)

(3) 展望回廊のカーペット張替工事を実施した。(11月12日)

(4) 42階窓辺に設置してある空調設備(ファンコイルユニット)内の清掃を実施した。(11月16日)

(5) ひまわり展示収蔵庫の蛍光灯を交換した。(11月20日)

(6) 本社ビル街灯のリニューアルに伴い、センタービル側のフラッグ用金具を交換した。(3月)

(7) ビル管理会社(損保ジャパン日本興亜ビルマネジメント(株))により、消火設備、ハロングラス設備、自動扉、空調設備等の点検及び動作確認が定期的に行われた。

3. 美術鑑賞教育の普及支援

<1> 対話による美術鑑賞

(1) 新宿区小中学生の美術鑑賞教育支援事業

「新宿区における美術振興を図るための協働連携に関する覚書」に基づき、公益財団法人新宿未来創造財団と「新宿区立小学校及び新宿区立中学校の美術鑑賞教育に関する協定書」を締結し、ガイドスタッフの協力を得て、事前授業及び休館日の鑑賞会を実施した。

【平成27年度 事業実施結果】

事前授業	小学校23校 1,072名、中学校4校 357名 合計27校 1,429名	ガイドスタッフ 延べ302名
鑑賞会	小学校29校 1,346名、中学校7校 588名 合計36校 1,934名、先生 163名	ガイドスタッフ 延べ638名
ガイドスタッフ在籍数 67名 活動延べ人数 940名		

(2) ギャラリー★で★トークアート

展覧会ごとに休館日1日を「ギャラリー★で★トークアート」の日(予約制、高校生以上有料)とし、ガイドスタッフや他の参加者と対話をしながら作品鑑賞を楽しんでもらった。「安野光雅」展では、夏休み企画として「ふぁみりー★で★とーく・あーと」と銘打ち、家族やグループでの参加を呼びかけたところ、定員を超える応募があったため、鑑賞日を追加して実施した。

「ユトリロとヴァラドン」展	6/15(月) 14時～16時	参加者:53名 (うち中学生以下2名) ガイドスタッフ:27名
「安野光雅」展	8/10(月) 9時半～11時半	参加者:49名 (うち中学生以下18名) ガイドスタッフ:22名
「安野光雅」展	8/17(月) 9時半～11時半	参加者:29名 (うち中学生以下11名) ガイドスタッフ:19名
「安野光雅」展	8/17(月) 14時～16時	参加者:38名 (うち中学生以下6名) ガイドスタッフ:20名
「最後の印象派」展	10/19(月) 14時～16時	参加者:38名 (うち中学生以下1名) ガイドスタッフ:33名
「青児とパリの美術」	12/14(月) 14時～16時	参加者:38名 ガイドスタッフ:21名
絵画のゆくえ2016	2/8(月) 14時～16時	参加者:22名 ガイドスタッフ:17名
FACE2016	3/14(月) 10時～12時	参加者:17名 ガイドスタッフ:19名

<2> 執筆・講演活動

- (1) 独立行政法人国立美術館主催研修への協力 (8月3日～4日)
平成27年度「美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」において、講師を務めた。
- (2) 慶応義塾大学アート・センターでの事例報告 (10月7日)
アーツ・マネジメント実習講座「企業内アート・リソースを活かす実践講座」において、当館の対話による鑑賞教育支援事業に関する事例報告を行った。
- (3) 新宿区教育委員会発行「しんじゅくの教育」(11/25発行)に寄稿した。
- (4) 「月刊美術 新年号」創刊40周年記念号(12/21発売)に寄稿し、美術鑑賞教育普及活動の必要性について提言した。
- (5) 慶応義塾大学アート・センター発行「ARTLET45号『アートと企業』」(3/30発行)に寄稿し、当館の新宿区における鑑賞教育支援の実践について紹介した。

4. 助成関係事項

<1> 優秀な美術家の表彰

- (1) 「FACE2016 損保ジャパン日本興亜美術賞」入選・受賞作品の選考（11月14日）
業務委託先（ヤマトロジスティクス（株））の倉庫において審査会を実施し、857点の応募作品の中から、六次にわたる審査により入選作品71点を選出し、入選作品の中から審査を行いグランプリ等の受賞作品9点を決定した。

選考結果については、11月20日に応募者全員に郵送するとともに当館及び業務委託先のホームページで公表した。

審査員は、本江邦夫氏（多摩美術大学教授）、堀元彰氏（東京オペラシティアートギャラリー チーフ・キュレーター）、坂元暁美氏（上野の森美術館学芸員）、野口玲一氏（三菱一号館美術館学芸グループ長）、当館館長の5名である。

入選・受賞作品は、「FACE展2016 損保ジャパン日本興亜美術賞展」で展示した。

賞名	副賞金	作家名	作品
グランプリ	300万円 (作品買上を含む)	えんどう みか 遠藤 美香	《水仙》 木版画
優秀賞	各 50万円	とうじんばら のぞみ 唐仁原 希	《それでも僕は。》 油彩・キャンヴァス
		みかぎ あやね 三 鑰 彩音	《曖昧》 岩絵具・箔・麻紙
		まつだ れいか 松田 麗香	《そこにある それもまた 84》 顔料・雲肌麻紙・パネル
読売新聞社賞	10万円	なかはら みお 中原 未央	《Life-2015》 ミクストメディア・キャンヴァス
審査員特別賞 本江邦夫審査員	各 10万円	あきやま じゅん 秋山 淳	《降り積もるもの》 日本画・麻紙
堀元彰審査員		おがわ なおき 小川 直樹	《彷徨》 油彩・キャンヴァス
坂元暁美審査員		おあな ことえ 小穴 琴恵	《無題（風景）》 油彩・キャンバス
野口玲一審査員		いざわ ゆかこ 井澤 由花子	《スプーンの中の夢》 水彩
オーディエンス賞	なし	おがわ なおき 小川 直樹	《彷徨》 油彩・キャンヴァス

- (2) 「FACE2016 損保ジャパン日本興亜美術賞」表彰式（2月19日）

43階ロビーにおいて表彰式を開催し、当財団理事長、読売新聞東京本社事業局・美術館連絡協議会事務局長、審査員長が受賞者に表彰盾を授与した。当館館長が主催者挨拶を、審査員長が選考経過を報告し、グランプリを受賞した遠藤美香氏が受賞者を代表して謝辞を述べた。

<2> 新進美術家の育成援助

新進美術家の支援・育成を目的とする「損保ジャパン日本興亜美術財団賞」を38団体のうち37の公募美術展平面部門の受賞者に授与した。

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
1	第74回 創元展	4/1	大原 瑩子	天翔る人、人

番号	展覧会名	授与年月日	受賞者	受賞作品名
2	第 68 回 示現会展	4/1	三杉 和子	春の萌・きざし
3	第 65 回 モダンアート展	4/1	松本 良子	being here
4	第 74 回 水彩連盟展	4/3	深牧 君代	OFF
5	第 63 回 光陽展	4/12	渡辺 敏子	曼珠沙華
6	第 101 回 光風会展	4/15	茶谷 雄司	Calmando
7	第 92 回 春陽展	4/18	中台 ゆう子	頭蓋骨(I)
8	第 81 回 東光展	4/25	福田 次子	冬山
9	第 89 回 国展	4/29	中村 宗男	東風
10	第 60 回記念 新世紀展	5/2	金子 久子	時・過ぎゆく
11	第 75 回 美術文化展	5/12	山下 春代	女人群像
12	第 111 回 太平洋展	5/13	西村 純子	ラフレシア(楽園)
13	第 67 回 三軌展	5/16	滝浪 文裕	絆
14	第 51 回 国際公募 亜細亜現代美術展	5/22	中村 淑江	翡翠飛翔
15	第 81 回 旺玄展	5/24	石橋 節子	かけぬける IMA' 15-1
16	第 29 回 日洋展	5/27	横田 律子	岬の明日
18	第 71 回 現展	5/30	渡辺 泰史	SAMURAI INDUSTRIES -風神雷神-
20	第 86 回 第一美術展	5/30	浅子 和子	刻-2015
19	第 103 日本水彩展	6/2	福井 タマエ	静
17	第 58 回 新象展	6/2	安田 淳夫	蘇生
21	第 68 回 創造展	6/14	府玻 杏	海底
22	第 69 回 女流画家協会展	6/29	長瀬 いずみ	始まりは1と3と4
23	第 94 回 朱葉会展	7/2	福嶋 親	時を経て
24	第 52 回 近代美術協会展	8/21	矢野 洋子	'15S-S Fashion
25	第 51 回 主体展	9/1	新島 知夏	永遠の微熱
26	第 100 回記念 二科展	該当なし		
27	第 79 回 新制作展	9/16	蛭田 美保子	架上フリテュール
28	第 70 回記念 行動展	9/16	溝部 京子	コード H3
29	第 87 回 新構造展	9/22	大島 靖江	映
30	第 77 回 一水会展	9/23	樋谷 邦夫	原爆ドーム<再生>
31	第 61 回 一陽展	9/30	古田 恵子	無我
32	第 58 回 新協美術展	10/6	櫻井 邦彦	SPOT
34	第 83 回 独立展	10/14	河村 香帆子	燃えて逝く天の川 II
35	第 69 回 二紀展	10/17	船岳 紘行	そうして成る
33	第 67 回 中美展	10/17	山口 保	SELF-PORTRAIT
36	第 66 回 一線美術会展	10/24	小島 由美子	いつかどこかで
37	第 46 回 元陽展	11/3	佐藤 凱	窓辺の少女
38	第 92 回 白日会展	3/16	鏡 泰裕	時の肖像(亡き父への レクイエム)

5. 公共への協力

<1> 文化行政への協力

- (1) 東京都 心の東京革命推進協議会主催「都民ふれあいの日」に協力し、年間を通して18歳未満の子供を連れた都民に対する優待割引を実施した。
- (2) 新宿消防署が主催する絵画展の審査員を当館学芸員が務めた。
- (3) 新宿区が主催する「新宿クリエイターズ・フェスタ 2015」(8/21～9/6)に協力し、「安野光雅」展及び「最後の印象派」展がタイアップイベントとして紹介された。
- (4) 新宿区が主催する「来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム 2015」(10/1～11/30)に協力し、イベント冊子の提示による「最後の印象派」展の観覧割引及びスタンプラリーを実施した。

<2> その他

- (1) 学芸員資格取得のための博物館実習を次のとおり実施した。(8月11日～19日)
実習期間：参加大学生：13校13名
筑波大学、駒澤大学、実践女子大学、武蔵野美術大学、共立女子大学、学習院大学、成城大学、青山学院大学、東京大学、東京学芸大学、女子美術大学、日本女子大学、法政大学
- (2) お客様感謝デーとして、「最後の印象派」展を観覧料無料で公開した。(観覧者数1,826名)また、新宿区主催の第36回大新宿区まつり(10/1～10/31)の協賛イベントとしても協力した。(10月1日)
- (3) 第14回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン(主催：新宿区他、大会事務局：公益財団法人新宿未来創造財団)に協賛した。(1月31日)

II 処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成27年度末現在

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
理事長 代表理事 (非常勤)	二宮 雅也	H28.1.21	損害保険ジャパン日本興亜(株) 代表取締役社長	H27.12.17 (理事就任日)
専務理事 業務執行理事 (常勤)	中島 隆太	H27.6.26	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館館長	H27.6.26
理事 (非常勤)	寺坂 公雄	H26.6.26	画家、日本芸術院会員、 (公社)日展顧問、(一社)光風会理事長	S62.3.25
理事 (非常勤)	千足 伸行	H26.6.26	広島県立美術館館長、成城大学名誉教授	H10.6.24
理事 (非常勤)	樺山 紘一	H26.6.26	印刷博物館館長、東京大学名誉教授	H20.6.24
理事 (非常勤)	佐野 めい	H26.6.26	画家、女子美術大学名誉教授	H24.6.29
監事 (非常勤)	斎藤 昭一	H24.6.29	公認会計士、税理士	H14.6.24

職名	氏名	就任日	摘要	最初の就任日
監事 (非常勤)	新里 智弘	H24.6.29	公認会計士、税理士	H19.6.19
評議員 (非常勤)	真室 佳武	H26.6.26	東京都美術館館長	H17.6.14
評議員 (非常勤)	國分 正明	H26.6.26	(一財)教職員生涯福祉財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	高階 秀爾	H26.6.26	大原美術館館長、 (公財)西洋美術振興財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	遠山 敦子	H26.6.26	(公財)トヨタ財団理事長	H18.6.24
評議員 (非常勤)	宝木 範義	H26.6.26	美術評論家	H20.6.24
評議員 (非常勤)	森田 富治郎	H26.6.26	第一生命保険(株)特別顧問	H20.6.24
評議員 (非常勤)	小佐野 重利	H26.6.26	東京大学大学院人文社会系研究科教授	H21.3.31
評議員 (非常勤)	馬越 陽子	H26.6.26	画家、独立美術協会会員、女流画家協会 委員、多摩美術大学大学院客員教授	H24.6.29
評議員 (非常勤)	嶋田 行輝	H26.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株)CSR部長	H25.6.25
評議員 (非常勤)	橋本 豊	H26.6.26	DIC(株)常勤顧問 DIC川村記念美術館館長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	宮田 亮平	H26.6.26	東京藝術大学学長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	松広 清	H26.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 理事総務部長	H26.6.26
評議員 (非常勤)	田村 康弘	H27.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 取締役常務執行役員	H27.6.26
評議員 (非常勤)	青木 潔	H27.6.26	損害保険ジャパン日本興亜(株) 広報部長	H27.6.26
顧問 (非常勤)	東郷 たまみ	H27.6.29	画家 元損保ジャパン日本興亜美術財団理事	H24.6.29
顧問 (非常勤)	原口 秀夫	H27.6.26	前損保ジャパン日本興亜美術財団 専務理事	H27.6.26

2. 職員に関する事項

平成27年度末現在

区分	氏名	就業 年月日	担任業務	備考
事務局長	土橋 浩次	H26.4.1	事務局事務統括	損害保険ジャパン日本興 亜(株)より出向
特命課長 (エキシビジョン・ マネージャー)	市川 アダム 博康	H27.2.1	展覧会関係業務	損害保険ジャパン日本興 亜(株)より兼務出向 (非常勤)

区分	氏名	就業 年月日	担任業務	備考
学芸課長	五十嵐 卓	H11.4.1	資料の収集・保管・展示、 調査研究、その他専門的業務	
主任学芸員	小林 晶子	H9.9.1	〃	
主任学芸員	中島 啓子	H9.10.1	〃	
主任学芸員	江川 均	H10.4.1	〃	
事務職員	出口 知子	H11.10.1	財団総務・美術館運営事務他	
事務職員	本條 志穂	H15.10.1	美術館運営事務、広報事務他	
事務職員	池田 美紀	H24.4.1	美術館運営事務、広報事務他	
事務職員	杉本 典子	H24.4.1	美術館広報事務他	平成27年度は育児休業
事務職員	吉井 有紀	H25.4.1	鑑賞教育事務、広報事務他	
嘱託職員	倉田 桂二	H27.6.1	経理・会計事務他	

3. 役員会等に関する事項

<1> 理事会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成27年6月3日	■報告事項 活動状況報告(平成27年3月～5月末) 理事長・専務理事の職務執行状況 (平成27年3月～5月末) 平成28年度以降の展覧会企画検討状況 ■議案審議 定時評議員会の招集 平成26年度事業報告及び決算報告の承認	原案通り可決 原案通り可決
平成27年6月26日	■議案審議 専務理事の選定 定例役員報酬の承認	中島隆太理事を選定 原案通り可決
平成28年1月21日	■議案審議 理事長の選定 佐藤正敏前理事長の逝去(平成27年11月5日) に伴い、臨時に理事会を開催し理事長を選定した。 理事の利益相反取引の承認 個人情報保護に関する基本方針等の改定 ■報告事項 活動状況報告(平成27年6月～12月末) 理事長・専務理事の職務執行状況 (平成27年6月～12月末)	二宮雅也理事を選定 原案通り可決 原案通り可決

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成28年3月23日	■決議事項 平成28年度事業計画及び収支予算書等の承認 理事の利益相反取引の承認 事務局長の選任 美術館館則の改定 ■報告事項 活動状況報告(平成28年1月～3月20日) 理事長・専務理事の職務執行状況の報告 (平成28年1月～3月20日) 特定個人情報取扱規則の制定	原案通り可決 原案通り可決 土橋浩次氏を解任し、 林圭一氏を選任 原案どおり可決

<2> 評議員会

開会年月日	議事事項等	会議の結果
平成27年6月26日	■報告事項 平成26年度事業報告 平成27年度事業計画及び収支予算 ■議案審議 平成26年度決算報告の承認 評議員の選任 理事の選任	原案通り可決 原案通り選任 原案通り選任
平成27年 12月17日	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第194条に基づく決議の省略によるもの ■決議があったとみなされた事項 理事の選任 佐藤正敏前理事長の逝去(平成27年11月5日) に伴い、理事を選任した。	評議員全員の書面による同意により、二宮雅也氏を理事に選任

4. 許可、認可、届出、承認及びその他の重要事項

申請等年月日	申請等事項
平成27年6月4日	東京都及び文部科学省へ青少年を対象とした取組等に関する実績報告(平成26年度)を提出
平成27年6月30日	内閣府へ平成26年度事業報告等を提出
平成27年7月2日	東京都へ博物館登録事項変更届(館長の変更)を届出
平成27年7月14日	内閣府へ評議員及び理事の変更を届出
平成28年1月26日	東京都へ博物館登録事項変更届(理事長の変更)を届出
平成28年1月28日	内閣府へ理事長の変更を届出
平成28年2月18日	内閣府へ評議員の退任を届出
平成28年3月23日	東京都へ博物館登録事項変更届(館則の変更)を届出
平成28年3月24日	内閣府へ平成28年度事業計画書等を提出

5. 寄付金等に関する事項

寄付の目的	寄付者	領収金額
公益目的事業に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	49,700,000 円
法人の管理運営に充当	損害保険ジャパン日本興亜(株)	21,300,000 円
公益目的事業に充当	法人 36件	6,585,000 円
公益目的事業に充当	個人 45件	1,931,000 円

6. 行政庁指示に関する事項

該当なし

7. その他

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、特記事項がないため作成していない。

以上